

# 指導者マニュアル

## 1. アクティビティ名

『KIDSの民事裁判所！』



## 2. このアクティビティの概要

『KIDSの民事裁判所！』は、誰でもカンタンに裁判のルールを守りながら「民事裁判」を体験することができる教材です。舞台となるのは、異世界「オントーキングダム」。転生してしまったマコと一緒に、オントーキングダムのもめごとを解決していきます。このゲームは＜原告弁護団＞・＜被告弁護団＞・＜裁判官＞という3つの立場に分かれて行います。

＜原告弁護団＞・＜被告弁護団＞の立場の人は、お題に対して自分自身の意見ではなく、それぞれの立場の人として、意見を考えて陳述します。実際の憲法や民法をもとにした架空のオントーキングダムの法律に基づき、相手チームの意見に対して反論を行ったり、自分のチームの意見を補強したりします。このように議論を重ねることで、法律に基づいて考えたり、ものごとを論理的に考えたり、人に伝えたりする力をみがくことができます。

<裁判官>の立場の人は、<原告弁護団>・<被告弁護団>の議論をうけて、それぞれの陳述の内容や法律にあてはまるかをジャッジします。

最終的には裁判官が投票（多数決）で<原告>・<被告>の勝敗を決め、判決内容や賠償金額を発表します。客観的にものごとを考察する力やさまざまな立場の意見をふまえて検討する力をみがくことができます。

### 3. アクティビティを進める中で注意するポイント

#### ポイント①

教材内で「陳述」というキーワードが出てきますが、「陳述」は裁判で使う用語で、陳述=スピーチのことだよ、と伝えてあげてください。

#### ポイント②

制限時間内に何かをするということが多く発生しますが、その際、「残り1分です！」とアナウンスしてあげてください。

#### ポイント③

教材動画は、教材の舞台となるオントーキングダムの世界観を説明する「オープニング映像」「エンディング映像」と、裁判についてや法律について学ぶ「動物森のアニメ」の2種の映像が存在します。動物森のアニメの前に「違う世界観のアニメがはじまるよ！法律や裁判に関する説明アニメだよ！」とアナウンスするようにしてください。



#### 4. アクティビティを行う環境・安全配慮について

- ・ 普段の教室や自宅などで実施できます。実施グループが複数できる場合は、それぞれ間隔を取ることができるような広めの会場がよいでしょう。
- ・ 机や椅子の移動にあたっては、参加者の怪我の無いように配慮し実施します。
- ・ 教材の進行の途中で、下図のように席の配置を変えるよう指示があります。事前にある程度この形を作っておくと、進行がスムーズになるかと思います。



#### 5. 準備物について

教材がダウンロードされたタブレット・パソコンのほかに、民事裁判を実施するグループごとに机や椅子がいくつかあるとよいでしょう。その際、机や椅子等は、軽くて動かしやすいものがおすすめです。必要に応じて、「各種資料ダウンロード」のコーナーにある付録教材を準備します。

- ・ 資料①：事件ファイル（共通）
- ・ 資料②：法典（共通）
- ・ 原告用ワークシート：準備書面（原告）
- ・ 被告用ワークシート：準備書面（被告）
- ・ 裁判官用ワークシート：ジャッジシートなど
- ・ 筆記用具